

# 岡山大学

マッチングプログラム

# MPコース

2014





## あなたの夢はなんですか？



マッチングプログラムコース（MP コース）は、幅広い分野に興味を持ち、自分で考える力を育んできた生徒を受け入れ、先進科学分野・国際連携分野などで活躍する人材を育成するため、岡山大学における戦略的構想の下に生まれた新しい教育コースです。様々な分野に興味を持ち、意欲のある生徒を育てるためには、入学時や就学時に起こるミスマッチを解消し、目的指向力を高めることが何よりも重要です。学生が担任やアカデミック・アドバイザーの指導の下で、将来の目標に対するマッチングを図ることにより、学生の目的指向力を高め、国際社会で役に立つ英語や課題探求型授業などの先進的教育プログラムを実践しています。卒業研究も、学生各自の目標・目的に合った学部・学科（理学部、農学部、教育学部など）を選び、これらの学部教員の指導のもとで行うことができます。

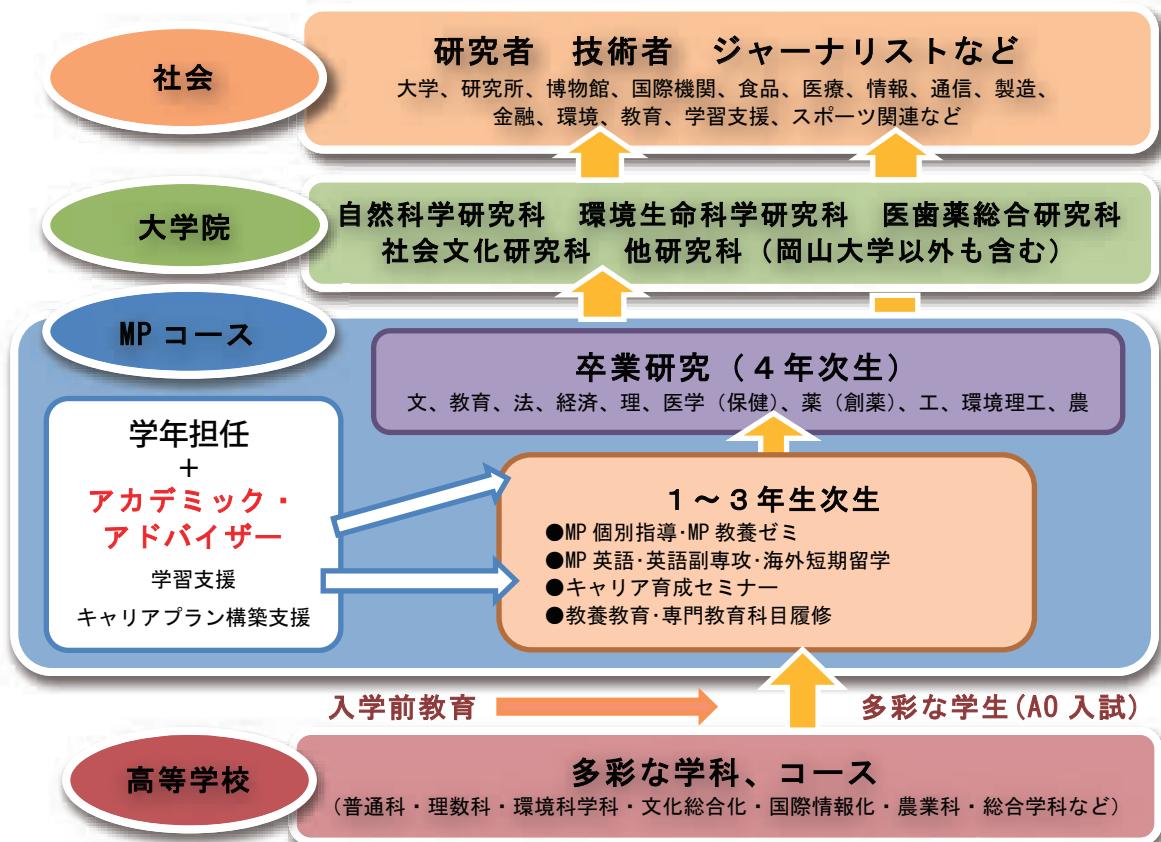
MP コースで学ぶことにより、現代社会で求められている応用力や積極性を鍛え、課題解決能力を培うことができます。特色のある授業内容と整った学習環境の中で、物事を一方向からだけで見るのではなく、多方面から考え、新たな発見をする感性を養うことができます。

進路としては、それぞれの専門領域に関連した分野、すなわち一般企業、研究、教育、行政、スポーツ関連、生涯教育、福祉、介護、国際関係、情報関連などが考えられます。また、卒業研究に関連した岡山大学の大学院はもちろん、外国を含めた他大学の大学院への進学の道も大きく開かれています。

MP コースでは一人ひとりの興味関心に応じた将来設計を行う教育プログラムを自ら組み立てられることが大きな特徴です。

# ■ MP コースの特徴

MP コースの学生は、アカデミック・アドバイザーの助言を受けながら文理の枠を超えて、自分に最も適した履修プログラムを作ります。そのため、履修プログラムは学生一人ずつ違い、誰一人として同じ時間割で学んでいる学生はいません。通常の学部・学科に属する学生が選択科目を除いてクラス全員で同じ授業を履修するのとは際だった違いがあります。



岡山大学マッチングプログラムコース（MP コース）は、自分の興味や将来の目的のため、教員の助言を受けながら学部や学科の枠にとらわれずに自分自身にあった履修プログラムを作成して学ぶことができるユニークなコースです。また、MP コースでは、現代社会で重要視されている英語力も含めたコミュニケーション能力、さらに自ら考えだす能力を養うことにも重点を置くとともに、その中で一人ひとりの個性や能力を一層伸ばすことにより、多様で複雑になりつつある社会の要請に応えられるような人材の育成を目指しています。実際これまでの就職希望者は昨今の不況下でありながら、多くの学生が早い段階で希望の企業への内定を得て就職することができています。これは MP コースで学ぶことができる広い視野にたった専門性とともに、コース独自の教育の中で培われるコミュニケーション能力、チャレンジ精神、独立心、さらには創造性などが高く評価されたためと思われます。そして、卒業生は、進学した大学院や就職先で、MP コースで学んだことを活かすとともに、さらに発展させ活躍しています。



MP コース 教育部長  
上田 均

## ■ 学部横断型カリキュラム

### 総合大学の特色を生かした自分だけの時間割

マッチングプログラムコース（以下MPコース）の最も大きな特徴は学部横断型の授業が受けられるという点です。一人ひとりの興味関心に応じた将来設計のため学部や学科の枠にとらわれず、自分に最も適した履修プログラムを自ら作成して学ぶことができます。そのため、履修プログラムは学生一人ずつ異なり誰一人として同じ時間割ではありません。学部横断型の授業の履修は学生それぞれの将来の目標に対するマッチングをはかることができるのです。



ヒトの脳について学びたい！・・・理学部、薬学部、医学部、文学部（心理学）など

環境問題に取り組みたい！・・・環境理工学部、農学部、経済学部、法学部など

深い専門知識を持った理科の教師になりたい！・・・理学部、教育学部など

・・・可能性は無限大！！

## マッチングプログ

## ■ MPルーム

### MPコース生のための自由な空間

MPルームは学生のための教室で1から3学年に各1部屋あります。MPコース独自科目の授業が行われるほか、空いている時間には自習室として利用できます。MPルームには、パソコンやインターネット、プレゼンテーション用設備（プロジェクター、ホワイトボードほか）、英語学習教材などが備えられており、MPコースの学生はこれらを自由に使うことができます。



## Voice

—在校生の声—

2年生 銀物 亜友実

兵庫県・加古川西高等学校出身

MPルームの環境はとても充実しており、空き時間には多くの学生が課題や学習をして有意義な時間を過ごしています。また、それぞれが違った興味を持っているMPの仲間と話すことによって、新たな分野への興味や多方面への考え方を発展させることができます。さらに1～3年生の教室が並んでいるため、履修や学習面で困ったことがあるとすぐに先輩に相談をすることができるのも魅力の一つです。MPルームは私の大学生活を充実させてくれるすばらしい場所です。

## ■ MPコース独自の授業

### 徹底された少人数教育

MPコースの授業は基本的に約16人という少人数で行われます。また授業内容は様々な学部や外部からの先生方を招き講義を受けたり、議題に対してプレゼンテーションや討論を行ったりと従来の「知識伝授型」の授業ではなく、学生が主体的に発言する授業が多いため、課題発見・解決、発想力、表現力が身につきます。



#### MPコース独自の授業（一例）

##### ・ MP教養ゼミ

他学部や外部の先生から講義を受け、その議題についてプレゼンテーションや討論を行います。

##### ・ MP英語

発音などの実践的な英語力を伸ばし国際的に活躍できるための準備をします。

##### ・ キャリア育成セミナー

実際に社会で活躍されている方々に講演していただきキャリアについて考えます。

## ラムコースの特徴

### ■ アカデミックアドバイザー

#### 学生の進路を徹底サポート

MPコースに入学すると、各学生の興味分野を専門としている各学部の教員がアカデミック・アドバイザー（以下A.A）としてつきます。MPコース生の時間割には「MP個別指導」が含まれており、週一回A.Aからマンツーマンの指導が受けられます。その内容は進路に向けての履修指導や学業の進行状況の報告、論文の読み合わせを行うなど多岐にわたり、大学生生活をサポートします。

### Voice

#### —在校生の声—

個別指導の内容は学生によって異なります。私の場合、生物学を学ぶと同時に英語力をつけていきたいと考えている為、英文のサイエンスレポートを読んでいます。読み進めに行く中で、その研究内容や関わりの深い話題などを先生が紹介して下さるので、新たな知識を得ることができ、更に興味も深まります。また、履修や資格取得などについての些細な内容でも相談しやすいのは先生方との距離が近いという特徴にあります。個別指導はMP学生のみに与えられた特権です。この恵まれた環境を最大限活用し、自らの理想に少しでも近付いて行きたいと思います。



2年生 高瀬 悠（兵庫県・賢明女子高等学校出身）

## ■在校生からのメッセージ

1年生 若林 紘好

岡山県・就実高等学校出身

僕は将来、食品関係の仕事、中でも保存食について取り組んでみたいと考えています。とはいっても、食品関係の分野は農学部です。高校生の頃、会社経営者になりたかったため文系を選び、理科は生物Ⅰしか勉強していません。ですから、補習講義を受けることで、高校での化学や生物Ⅱにあたる分野を勉強しています。また、会社経営者になるためにマクロ経済学と簿記入門も履修しています。

	月	火	水	木	金
1	哲学へのいざない [教養教育]				ドイツ語(読本) [教養教育]
2	総合英語3 [教養教育]	自然科学入門 [教養教育]	英語(MPコースⅠ) [MPコース]	健康と病気 [教養教育]	簿記入門 [経済学部]
3	MP個別指導 [MPコース]	ドイツ語(文法) [教養教育]	初等化学 [教養教育]		初等生物学 [教養教育]
4		マクロ経済学 [経済学部]		MP教養ゼミ [MPコース]	総合英語4 [教養教育]
5					



2年生 郷司 理沙

徳島県・川島高等学校出身



私は環境や自然、また何でも体験することが好きで、高校生の頃から環境系のイベントやボランティアに参加していました。大学では自然環境やまちづくりについて勉強したいと思い、農学部と環境理工学部の授業を中心に履修しています。また、体験型の集中講義をたくさん受けたり、AAの先生の研究室について夏休みに津山で泊り、研究のお手伝いをしたりしています。今もキャンプイベントのボランティアスタッフなどをしているため、わざと金曜日をあけるように授業を選択しています。

履授業を選ぶときに悩むことが多いですが、自分のやりたいことが選べるMPコースはとても楽しいです。

	月	火	水	木	金
1	情報処理論 [理学部]	MP個別指導 [MPコース]			
2	環境保全学 [農学部]	MP教養ゼミ(異文化) [MPコース]	森林生態学概論 [農学部]	世界のまちづくり [教養教育]	
3		フィールド基礎実習 [農学部]		種別英語(検定) [教養教育]	
4		↓		実験実習指針 [農学部]	
5			↓	MP英語3 [MPコース]	実践型水辺環境学及び演習Ⅰ [環境理工学部]

## 2年生 設楽 ひかり

山梨県・都留高等学校出身

私は、高校の保健体育の教員免許を取得するため、主に教育学部の授業をとっています。その他にも、自分は海外に興味があるので、英語に力を入れているMPなら留学についてのサポートも厚く、自分に合っていると感じました。また、私は水泳部に所属しており充実した日々を過ごしています。

やりたいことは学生のうちにしか出来ないと思うので、みなさんも是非自分のやりたいことを大学で頑張ってみてください！

	月	火	水	木	金
1	情報処理論 [理学部]				
2	中等保健体育指導法A [教育学部]	MP教養ゼミ(異文化) [MPコース]		教育の制度と社会 [教育学部]	日本国憲法 [教養教育]
3		体育実技バレーボール [教育学部]			キャリア形成Ⅱ [教養教育]
4	運動方法学 [教育学部]		教職論4 [教育学部]		
5		種別英語(オラコン) [教養教育]	MP英語3 [MPコース]		
6			MP個別指導 [MPコース]		



## 3年生 水野 拓実

兵庫県・明石高等学校出身



MPコースの特徴として挙げられるのは学部・学科の枠にとらわれない学部横断型の勉強ができる事、各学生にアカデミックアドバイザーがつくこと、英語学習に力を入れていること、MPコース専用の教室があるなど多々挙げられます。その中でも私がMPコースに入った理由は学部横断型の勉強ができるということでした。今現在では理学部化学科の授業を中心とっていますが、1・2年次に薬学部の講義を中心に勉強していました。在学中にでも進路が変更することもでき、ゆっくりと自分のやりたいことを見つけていけるので、まだやりたいことが明確でない人にはオススメのコースです。

	月	火	水	木	金
1	量子力学 [理学部]	有機化学V [理学部]			錯体化学III [理学部]
2	有機化学III [理学部]	MP教養ゼミ(異文化) [MPコース]	量子化学I [理学部]	MP個別指導 [MPコース]	
3	物理化学I [理学部]	化学実験I [理学部]	無機化学III [理学部]	化学実験I [理学部]	化学実験I [理学部]
4	無機化学I [理学部]	↓		↓	↓
5		↓	MP教養ゼミ(倫理・哲学) [MPコース]	↓	↓

# ■英語教育

## 使える英語を実現するMP独自の英語教育

### ○MPコース独自の英語授業

実践的な授業で英語運用能力向上。  
使える英語を身に付ける。

MPコースでは、独自に英語の授業が開講されています。文法はもちろん、そのどれもがネイティブの発音やコミュニケーション能力に重点を置いたもので、すぐに生かせるのが強みです。

また徹底した少人数制によるきめ細かな指導で着実に自分の英語運用能力を上げることができます。授業中はクラスの友達とコミュニケーション練習をするなど、切磋琢磨しながら楽しく受けられるのも特徴です。



### ○英語合宿

英語だけの数日間  
英語をもっと身近に。

毎年恒例となるい  
る英語合宿。いろんな国  
の留学生と英語を使っ  
て、カレー作りやゲーム  
などの活動を通してコ  
ミュニケーションを図  
ります。自分の英語がど  
の程度ネイティブに通  
用するのか、どのように  
伝えるとわかりやすい  
のかを直に知ることの



できる機会になり、目的意識をもった英語学習につながります。各国からの留学生を迎えるため他国の文化を学ぶことにもなり、普段の大学での講義とは一味違った経験ができるこ  
と間違いないです。

### ○語学研修 In アデレード

異文化に触れる5週間。  
国際感覚と語学力を養成。

MPコースでは、TOEICにおいて一定以上のスコアを取得すると留学費用の補助金を受けられる制度があります。「大学生になったら一度は留学を」と考えている人も少なくないと思います。多くのMPコースの学生も長期休暇にこの補助金を利用してそんな思いを形にしています。

外国へ行くことでさまざまなことを感じると思います。文化の違いや生活スタイルの違い、もしかすると、人生観の違いにも気づかされるかもしれません。日本ではできること、見られないもの、感じられること、人の出会い、すべてが貴重な経験になる5週間を過ごせるに違いありません。制度をフル活用して、自分の視野を外へ広げてみてはいかがでしょうか。

**Voice**  
—在校生の声—

3年生 久保 愛結子  
岡山県・西大寺高等学校出身

今春、私はオーストラリアの南東に位置するアデレード大学に語学研修として通っていました。現地では街を散策したり、ホストファミリーとパーティーをしたり、とても有意義な時間を過ごしました。MPコースには、一定以上のTOEICのスコアを取ると語学研修の費用の援助を受けられるという独自の制度があります。「留学」＝「お金がかかる」と思っている方も気軽に、旅行とは異なる海外を経験できるチャンスを掴めます。みなさんも是非、MPコースで海外への第一歩を踏み出してみませんか？

# ■ MPコースで過ごす4年間

学部横断型の多彩な学びを生かしたMPコースでの充実した4年間は無限大の未来へつながる扉を開きます。

## MODEL CASE

### 4年生 天野 早織

農学部 環境生態学コース 昆虫生態学研究室

岡山県・ノートルダム清心女子高等学校出身



## 1年次

### 自分の進路を見つける1年

一年生のうちは、必修の主題科目や専門基礎科目を中心に受講していました。農学部の専門科目で、自分の興味のある講義は一年次に受講できないものが多かったので、アカデミック・アドバイザーの先生にアドバイスをしてもらいながら、理学部と農学部の講義を受けることに決めました。また、入学時より副専攻の英語コースに興味があったので、副専攻コースに進むつもりで「上級英語」を多めに受講するようにしました。

## 2年次

### 専攻分野の確立

二年生になって、副専攻の英語コースに正式に進むことができたので、「上級英語」を受講するだけでなく、余暇を利用してより一層英語の勉強をするように努めました。また、二年生の早い時期から農学部の研究室の先生と連絡を取り、後期からは定期的に研究室のミーティングに参加するようになりました。早い時期から希望の研究室を見学することで、研究室での生活の楽しさ・厳しさを少しづつ理解していったことをよく覚えています。

## 3年次

### 新たな夢への挑戦

三年生になって初めて教員を志望したため、研究室に関連した講義だけでなく、教職課程の講義を沢山受けるようになりました。次第に、高校で理科と英語の二教科を教えることのできる教員になりたいという気持ちが強くなっていましたので、二教科分の講義を受けることに決めました。三年生が一番忙しく大変な時期でしたが、忙しいなりに自分で工夫して予習・復習・課題に取り組む姿勢が確立された、実りの多い時期だったと思います。

## 4年次

### 専門的な学びと研究への取り組み

四年生になると研究室での活動も本格化し、講義を受けることと並行して、毎週行われるゼミや卒業研究の準備もしています。おそらく三年生の時より更に忙しい毎日を送っているような気がしますが、忙しければ忙しいほど、毎日コツコツ勉強や作業に取り組む姿勢がしっかり身についていると思います。現在は、農学部の所属研究室の学生部屋を中心に、研究室の仲間達と仲良く助け合いながら、毎日楽しく勉強をしています。

# ■卒業研究

MPコースの学生が行う卒業研究は目的に合った学部・学科を選び、これらの学部教員の指導のもとで行います。

## 課題研究をおこなった学部別人数(MP第1期生～4期生)

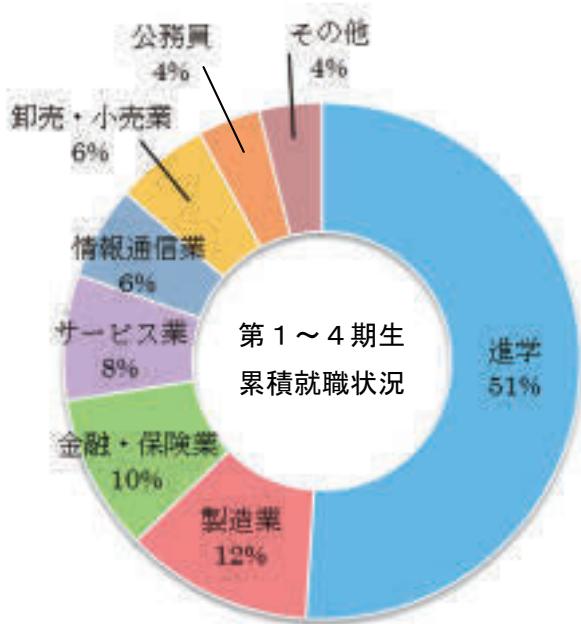
	H21年度 (1期生)	H22年度 (2期生)	H23年度 (3期生)	H24年度 (4期生)	計
文学部	0	0	0	2	2
教育学部	1	1	3	1	6
法学部	0	0	1	0	1
経済学部	0	1	0	1	2
理学部	7	14	6	2	29
薬学部	0	0	1	0	1
工学部	1	0	1	2	4
環境理工学部	0	0	1	0	1
農学部	4	0	0	4	8
計	13	16	13	12	54

### 主な卒業論文テーマ(平成23年度)

- ロジウム触媒を用いるシアノエステル化反応の開発(理学部)
- 国際的な子の奪取と日本法(法学部)
- サンドフィッシュ鱗の摩擦特性(工学部)
- 自閉症児・ダウン症児の着替えにおけるビデオセルフモーデリング法による指導(教育学部)
- 抗菌薬と緑膿菌の多剤耐性化の関係(薬学部)

など

# ■就職・進路状況



### 主な就職先

- |          |               |
|----------|---------------|
| ・伊予銀行    | ・ベネッセコーポレーション |
| ・協和発酵キリン | ・東洋産業         |
| ・国立印刷局   | ・三井住友銀行       |
| ・富士通     | ・横浜市役所        |

## Voice

### —卒業生の声—

#### 吉田 光佑

花王株式会社 ハウスホールド研究所

MPコース第1期生(平成21年度卒業)



突然ですが、皆さんは大学で何がしたいですか？恥ずかしながら、私には明確な目的がありませんでした。ただ「化学が好き」と「ものづくりがしたい」という漠然とした理由だけで学部を決めようとしていました。そんなときにこのMPコースに出会いました。MPコースの利点の一つは、自分が興味ある講義を受けられることです。私がしたかった「ものづくり」には、様々な知識や考え方が必要です。私は7学部の講義を履修して幅広い知識を身に付けることができました。また、そこから得られる「柔軟な考え方」や、色々なことに挑戦したことで得られた「自分で考える力」と「行動力」、これらは就職活動での強みになり、現在も仕事を進める上で役立っています。

# ■入試概要

## ◎AO入試

■募集人数 16名

■出願資格 選抜要項・募集要項または岡山大学ホームページを参照してください。

### ■選抜方法

#### ●第1次選抜

- 出願書類（調査書・自己推薦）による書類選考を行う。
- 第1次選抜の合格者は、原則として、募集人員の3倍程度とする。
- 志願数が募集人員に対する予告倍率（3倍）を超えた場合は、第一次（書類）選抜を行い、その合格者についてのみ第2次選抜を行う。  
志願者調査書の評点は数学・英語・国語を重視する。自己推薦書の内容は自己アピール及び活動記録である。その他の活動実績（生徒会活動・スポーツ活動など）も評価する。

#### ●第2次選抜

##### 第1日

講義に関するレポート 400点

（英語に関する課題が1部含まれることがあります。）

講義を受講し、与えられた課題（問題）に対してレポートを作成する。

講義時間とレポート作成時間を合わせて120分、これを2回行う。

##### 第2日

（1）小論文 300点

数学・物理・化学・生物・地学・保健体育の6題から1題を選択し、小論文及びポスターを180分で作成する。

（2）発表及びグループ討論 200点

選択した問題に応じて6人程度のグループに分かれ、発表（一人6分程度）及び討論（40分程度）を行う。

（3）個人面接 100点

各個人に対し、20～25分の面接を行う。

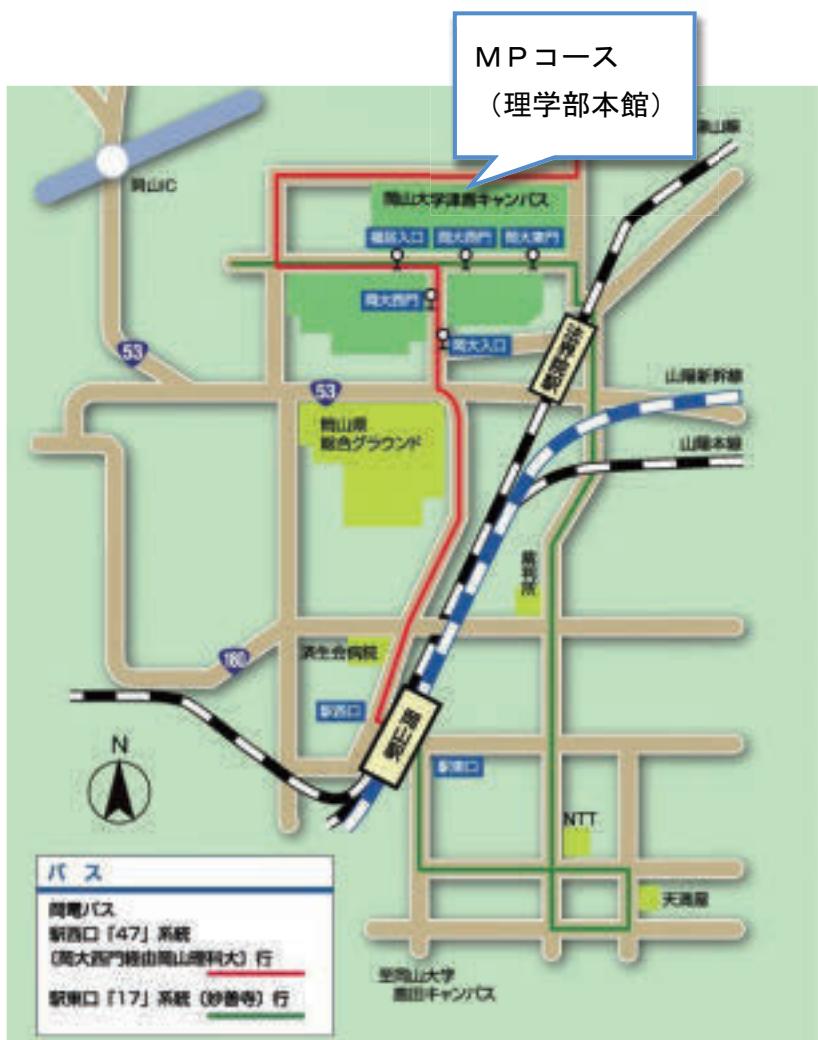
※詳細は、募集要項またはMPコースホームページを参照してください。

## ◎国際バカロレア入試

■国際バカロレア入試については募集要項または岡山大学ホームページを参照してください。

## ■ アクセス

JR 岡山駅東口から岡電バス  
「岡山大学・妙善寺」行 → 「岡大西門」  
  
JR 岡山駅西口から岡電バス  
「岡山理科大学」行 → 「岡山西門」  
  
JR 津山線「法界院」駅 → 徒歩 10 分



# 自らの力で、未来を切り開こう

## 岡山大学マッチングプログラムコース

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

理学部本館

TEL:086-251-7763 FAX:086-251-7777

<http://www.mpc.okayama-u.ac.jp/>

MP コース

検索

マッチングプログラムコース平成 25 年度パンフレット  
制作 : MP コース 2 年 劍物亜友実・郷司理沙・二宮亮